

品目別レポート（ウイスキー）

■品目説明

ウイスキーとは、穀類と水を原料として、これを糖化、発酵させたのち、蒸留し、樽のなかで熟成させた酒をいう。生産地により原料や製法が異なるため、製品となるウイスキーはそれぞれの特色を有している。ピート（泥炭）で燻蒸された麦芽を原料としたスコッチタイプのウイスキー、とうもろこしを主原料とするバーボンウイスキー、ライ麦を主原料とするライウイスキーなどが輸入されている。なお、国産のウイスキーは、スコッチタイプが主である。

「アルコール分 50%以上で、2 リットル以上の容器入り」(HS コード:2208.30-011、2208.30-021、2208.30-031)とあるのは、いわゆる樽入りのウイスキー原酒で、通常、これが国産ウイスキー原酒とブレンドされたのち、びんに詰められて出荷される。「アルコール分 50%未満、または、2 リットル未満の容器入り」が、通常のびん詰めウイスキーである。「その他のウイスキー」として有名なものには、スコッチウイスキー、アイリッシュウイスキーがある。

内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出強化戦略（平成 28 年 5 月）」では、アルコール飲料の現状・課題として「国内外で高い評価を受けた、高付加価値な酒類が輸出される傾向にある」「今までの傾向を踏まえ、日本産酒類の高付加価値化を進めるとともに、海外において製造されている酒類との差別化を図ることが課題」と指摘し、「海外の消費者ニーズを踏まえ、更なる高付加価値化を実現すべく、日本産酒類のブランド力と品質を向上させる」とうたっている。今後の取り組みとしては、官民連携の上「地理的表示を活用したブランド力向上」「品質・技術の向上/人材育成」を行うとしている。

日本洋酒酒造組合によると、日本のウイスキーの移出数量(20 年)は 13 万 6,796 キロリットルで、引き続きハイボールをはじめ、ウイスキーの人気の高いもののコロナ禍の外出制限や飲食店の営業時間短縮による外食機会の減少を受けて前年比 14.2%の減少となった。

ウイスキーの小売り売上規模（2020 年）は全世界で 32 億 8,280 万リットルとされており、地域別にみると、アジア大洋州 18 億 5,686 万リットル、北米 6 億 3,035 万リットル、西ヨーロッパ 3 億 4,373 万リットル、中東・アフリカ 1 億 4,305 万リットル、東ヨーロッパ 1 億 3,147 万リットル、ラテンアメリカ 1 億 2,856 万リットル、オーストラレーシア 3,477 万リットルである。（ユーロモニター・インターナショナル）。

■貿易概況

20年のウイスキーの輸出額は、前年比42.6%増の2億5,405万ドルと前年に続いて大幅な増加となった。輸出相手国・地域別では、1位の中国が同223.08%増の7,498万ドル、2位の米国が同19.4%増の5,906万ドル、3位のフランスが同3.0%増の2,595万ドルとなった。

20年のウイスキーの輸出量は前年比17.2%増の9,225キロリットルとなり、輸出額と同じく増加した。輸出量1位の米国は同24.5%増の2,441キロリットル、2位のフランス向けは同3.0%増の1,525キロリットルと増加した。3位は中国で同69.6%増の1,357キロリットルとなった。

▼表1：日本のウイスキー輸出

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	10,592,056	493	23,211,245	801	74,983,066	1,357	223.0	69.6
米国	37,803,571	1,484	49,449,752	1,961	59,060,386	2,441	19.4	24.5
フランス	25,143,825	1,468	25,210,142	1,516	25,958,099	1,525	3.0	0.6
オランダ	13,568,994	454	22,201,757	759	21,902,119	767	△1.3	1.1
シンガポール	11,353,172	328	12,988,406	461	16,193,256	486	24.7	5.6
全世界	135,825,061	6,208	178,217,346	7,870	254,054,909	9,225	42.6	17.2

注：対象はHSコード 2208.3

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

日本産ウイスキーの人気は世界各地に広まり、いずれの国でも高い伸び率となっている。特に高価な商品が好まれている。また、近年は「ワールド・ウイスキー・アワード」や「インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ」(ISC)など国際的な賞を受賞したことでも話題を呼んでいる。ウイスキーは長時間熟成が必要で、今後さらに需要が高まった際に、供給が追い付くための対応も必要となる。

■海外事情

●中国

20年のウイスキー輸入額は2億4,412万ドル(前年比17.0%増)、数量は2万1,083プルーフキロリットル(pfkl/アルコール分50度として換算)(前年比2.3%減)となった。

主要輸入相手国を金額ベースで見ると、1位が英国で輸入額は1億9,555万ドル(前年比10.2%増)、2位が日本で2,513万ドル(同147.3%増)、3位が米国で998万ドル(同29.1%減)であった。

▼表2：中国のウイスキー輸入

(単位：ドル、PFキロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
英国	151,052,176	15,608	177,423,731	17,483	195,553,846	16,728	10.2	△ 4.3
日本	6,342,227	509	10,161,734	725	25,133,099	1,187	147.3	63.6
米国	11,257,090	2,164	14,073,891	2,622	9,985,122	2,069	△ 29.1	△ 21.1
フランス	763,600	124	705,052	126	4,896,667	325	594.5	158.7
台湾	1,461,227	64	2,951,564	96	3,652,743	149	23.8	56.1
全世界	173,427,622	18,943	208,581,275	21,587	244,122,783	21,083	17.0	△ 2.3

注：対象はHSコード 2208.3

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

●米国

20年のウイスキー輸入額は17億237万ドル(前年比32.6%減)、数量は21万4,108プルーフキロリットル(pf kl/アルコール分50度として換算)(前年比9.0%減)で、金額、数量ともに前年を下回る結果となった。

主要輸入相手国を金額ベースで見ると、1位が英国で輸入額は10億6,368万ドル(前年比35.5%減)、2位がアイルランドで3億1,576万ドル(同42.6%減)、3位がカナダで2億3,468万ドル(同5.8%減)、4位が日本で6,959万ドル(同16.0%増)、5位はフランスで1,180万ドル(同16.2%増)であった。

▼表3：米国のウイスキー輸入

(単位：ドル、PFキロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
英国	1,574,926,541	75,865	1,649,018,444	77,158	1,063,689,774	67,790	△ 35.5	△ 12.1
アイルランド	462,265,538	30,437	550,479,188	35,048	315,767,390	29,950	△ 42.6	△ 14.5
カナダ	264,445,083	123,364	249,031,899	119,074	234,682,303	111,372	△ 5.8	△ 6.5
日本	41,878,047	1,857	60,010,883	2,719	69,590,372	3,121	16.0	14.8
フランス	8,854,065	812	10,160,144	901	11,801,077	1,389	16.2	54.1
全世界	2,361,904,533	233,253	2,526,760,739	235,402	1,702,371,623	214,108	△ 32.6	△ 9.0

注：対象はHSコード 2208.3

注：PFKL = プルーフKL (アルコール含有量での量)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

米国では国産のウイスキーの人気の伸びているが、それに加えアイリッシュウイスキー、コニャックの消費量も年々増加している。さらに、近年国内のスピリッツメーカーはプレミアム感を出すことに力を入れており、上質な酒を飲むことの利点をアピールしている。このブームに乗ることで、日本産のウイスキーもさらに需要

を伸ばすことが可能とみられる。

日本からの輸入は09年以降毎年増加している。輸入ウイスキーは国産ウイスキーよりも価格が高いものが多いが、消費者は外国産ウイスキーに対して高品質、プレミアムというイメージを持っており、国産よりも高い金額を出して輸入品を選ぶ傾向がある。

なお、ユーロモニター・インターナショナルによる調査では、米国におけるウイスキーとジャパニーズウイスキーの市場規模(19年)はそれぞれ5億5,761万リットル、236万リットルである。24年には6億194万リットル、330万リットルまで広がると推計されており、特にジャパニーズウイスキーについては14年の市場規模が47万リットルであったため、10年間で約7倍に拡大することになる。

主要輸入相手国を金額ベースで見ると、1位が英国で輸入額は5億9,749万ドル(前年比9.0%減)、2位が米国で7,202万ドル(同29.2%減)、3位がアイルランドで2,871万ドル(同13.0%増)、4位が日本で2,620万ドル(同2.6%増)、5位はオランダで1,870万ドル(同2.4%減)であった。

▼表3：フランスのウイスキー輸入

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
英国	632,296,808	130,487	656,810,833	138,406	597,493,566	119,106	△ 9.0	△ 13.9
米国	105,142,812	10,472	101,778,004	10,321	72,024,856	10,227	△ 29.2	△ 0.9
アイルランド	25,445,848	6,013	25,412,637	4,144	28,715,685	5,260	13.0	26.9
日本	26,041,344	1,512	25,544,444	1,432	26,205,770	1,528	2.6	6.7
オランダ	14,174,167	2,038	19,166,565	2,370	18,704,476	2,355	△ 2.4	△ 0.6
全世界	847,063,602	158,174	866,276,781	162,335	777,182,463	143,221	△ 10.3	△ 11.8

注：対象はHSコード 2208.3

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

フランスでは、販売されているウイスキーの90%がスコッチといわれ、産地である英国からの輸入量が非常に多い。日本のウイスキーは、英ウイスキー・マガジン(Whisky Magazine)が主催するワールド・ウイスキー・アワード(ウイスキーのみを対象としたコンペティション)における受賞など、その質の高さが評価されている。

AGRESTE(フランス農業省の公表する統計)ではウイスキー生産統計を非公開としているため国内生産量は不明だが、15年にはブルターニュ地域圏とアルザス地域圏で生産されているウイスキーにIGP(原産地名称保護制度)を表示することが認められるなど、国内各地でウイスキー作りが活気付いている。

なお、ユーロモニター・インターナショナルによる調査では、フランスにおけるウイスキーとジャパニーズウイスキーの市場規模(19年)はそれぞれ1億3,043万リットル、104万リットルである。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。